

オフィス家具メーカーとして、
これからを考えて、いまできることを。

MOKURAL PROJECT

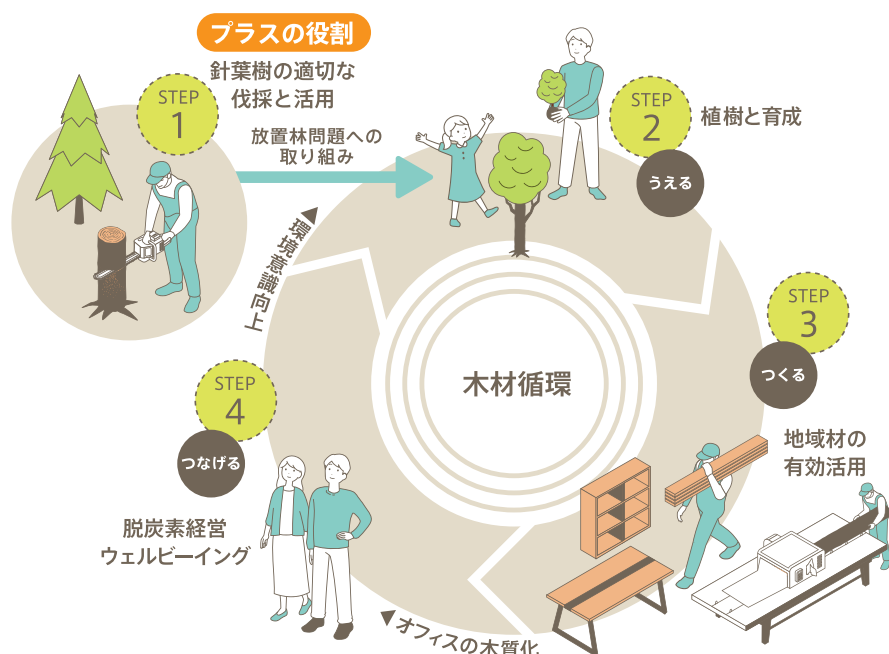
MOKURAL

オフィスから未来へ繋げる
木材活用プロジェクト

プラスではカーボンニュートラルへの取り組みとして、2022年1月、木材循環システム「MOKURAL PROJECT」を立ち上げました。
このプロジェクトは、若齢期が過ぎCO₂の吸収量が減少している針葉樹を適切に伐採し、伐採した箇所にCO₂吸収量の高い若木の早生樹を植樹することでCO₂吸収量のアップを図るとともに、伐採した国産木材を活用し製品化することで、海外の木材を輸入する際に排出されるCO₂を大幅に削減し、温室効果ガスの抑制につなげることを目的としています。

木材循環システムの構築

国産木材の積極利用と早生樹の植樹・活用により、CO₂削減の推進と持続可能な森林経営への貢献を目指します。



国産木材の活用理由

- 輸入木材と比較して輸送距離を短縮し、物流時のCO₂を削減。
- 放置された人工林の木材を積極活用し、新たに植樹を行うことでCO₂吸収能力を向上。

全国展開の実現

地域材を活用することで更なるCO₂削減につながるため、エリアごとのMOKURAL PROJECTを全国に展開し、地産地消を目指します。

メンテナンス・サポート体制

CREATORE with PLUSやWEBなどを活用し、商品の体験から購入、アフターメンテナンスまでサポート体制を整え、木質ファニチャーの理解促進につなげていきます。

「センダンサイクル」プロジェクトに参画

木材循環システム構築の一つとして、協同組合 福岡・大川家具工業会 地域材開発部会「センダンサイクル」プロジェクトにプラスとして参画。放置された針葉樹を活用し、木製オフィス家具を製造販売することで、センダンの植樹スペースを確保します。また、全国でセンダン*のような早生樹を植樹する活動を拡げ、脱炭素社会の実現へ貢献します。

*センダン：成長スピードが早く、20～30年で家具材としての利用が可能。

Vicenda Series →P.001

コンセプトは「お互い」。

木と金属が構造面で弱点を補い合い、視覚・触覚面で双方の魅力を引き出し合う、ハイブリッド構造の木金混合家具です。木部にはセンダンを使用。センダンモデル第一弾として、2023年2月に販売を開始。2023年、グッドデザイン賞を受賞しました。

WOOD×STEEL
Vicenda Series

